

2026 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 E R I ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 馬 野 俊 彦
(コード番号：6083 スタンダード市場)
問 合 せ 先 広報 IR グループ長 山 本 慎 一
(TEL. 03－5770－1520)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、2026 年 7 月 14 日付取締役会において、2025 年 7 月 8 日に公表しました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状の分析・評価を行い、内容をアップデートしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上

「資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応」について (アップデート)

2026年7月14日

ERIホールディングス株式会社
(東証スタンダード市場:6083)

<https://www.h-eri.co.jp/>

現状分析 ― 時価総額、株価指数との比較、ROE

▶ 時価総額

コロナ禍を境に業績全般が改善した状況がある程度市場で評価され、株価に織り込まれたことで株式時価総額が増加基調に転じる。



▶ TOPIXとのパフォーマンス比較

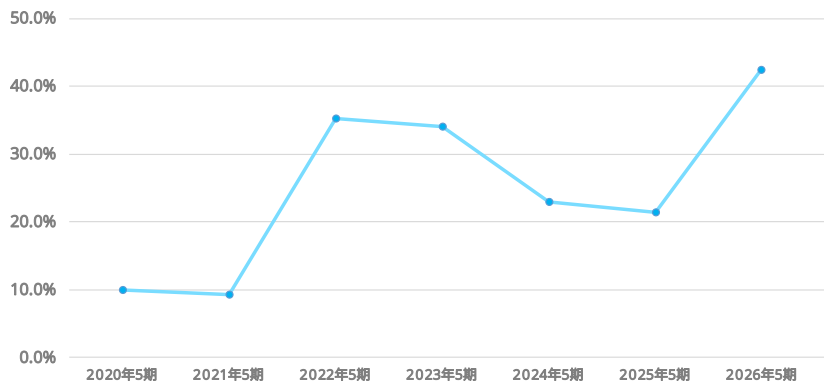
コロナ禍以降においては、TOPIX対比で当社株価がアウトパフォームしている。



▶ 自己資本利益率 (ROE)

コロナ禍以降の堅調な事業によって売上高純利益率が改善したことにけん引されてROEは向上。

ROEの推移



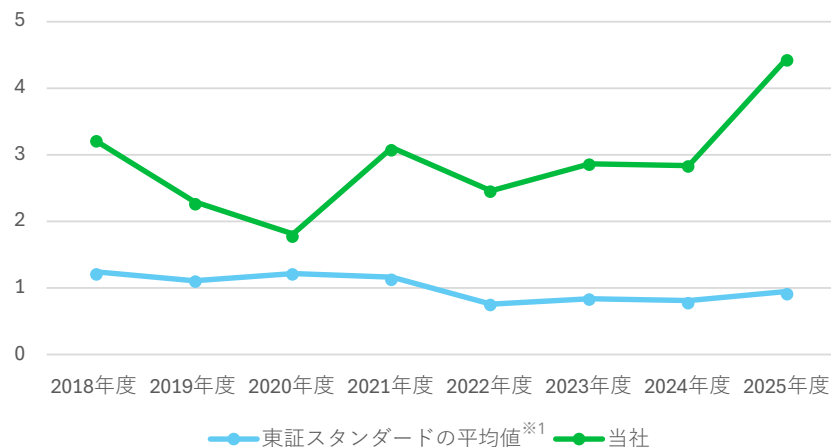
	2020/5期	2021/5期	2022/5期	2023/5期	2024/5期	2025/5期	2026/5期
ROE	9.9%	9.3%	35.2%	34.0%	22.9%	21.4%	42.4%
売上高純利益率	1.7%	1.8%	7.6%	8.8%	6.8%	6.6%	12.7%
総資産回転率	2.17	2.17	2.15	1.79	1.61	1.59	1.61
財務レバレッジ	2.61	2.32	2.16	2.15	2.07	2.06	2.06

現状分析 － PBR、PER、資本コスト

▶ PBR、PER

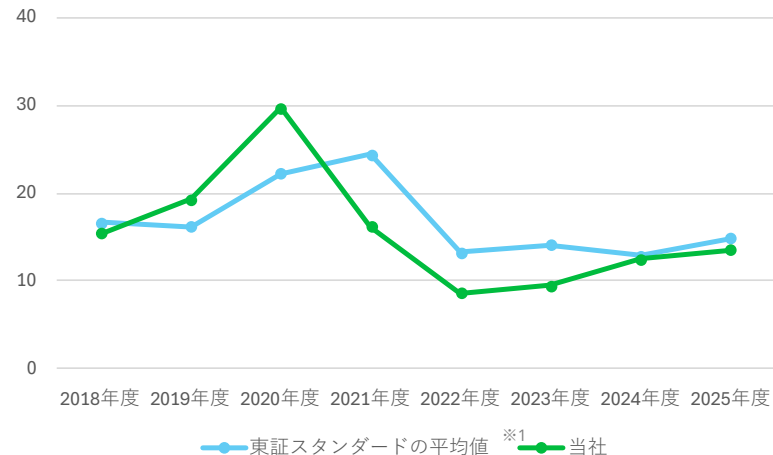
PBRは1倍以上を維持して、市場平均を上回って推移している。

PBRの推移



PERは市場平均に対して上下にぶれながら推移している。

PERの推移



※1 東証スタンダードの平均値は、2021年度までは東証一部の平均値

▶ 資本コスト

資産資本評価モデル (CAPM^{※2}) による株主資本コストを7%～8%と算出

※2 株主資本コスト = リスクフリーレート + $\beta \times$ マーケットリスクプレミアム

ROEは株主資本コストを上回って推移しており、一定のエクイティ・スプレッドを創出できている。
一方で、PERは必ずしも市場平均を上回っておらず、将来企業価値の創造力の評価の向上が課題である。

目標と取組

使命とする公共性の高いサービスを持続できるよう、長期目標「2030年度に時価総額350～400億円」を目指して事業を成長させる

収益力の向上と 安定成長	長期目標の実現に向けた施策を積み上げて、投資家と明確な成長期待を醸成・共有することでPERを向上させる 継続的なM&Aの活用で事業ポートフォリオを拡充し業績の安定化を目指す	
	中期経営計画	2028年5月期 目標
	売上高	300億円
	経常利益	55億円
	ROE	20%～30%
株主還元向上	安定した業績による安定的な配当の継続と、業績拡大による株主還元の向上（一株当たり配当の増額）	
	中期経営計画	2028年5月期 目標
	配当	年間48円／株
市場との対話と IR活動	機関投資家との丁寧な対話（機関投資家向け説明会、個別面談など） 外国人投資家向け情報開示（決算説明資料や適時開示などの英文資料の同時開示）や個人投資家向け説明会 事業ポートフォリオの拡充に係るより積極的な事業PRの実施	